

教員採用試験結果

10月11日、「平成30年度（18年度）岩手県公立学校教員採用候補者選考試験」の結果が発表されました。合格者のうち県内講師経験者は、高校34人（61.8%）、特別支援学校24人（61.5%）、養護教諭5人（14.3%）、栄養教諭0人となっています。うち臨時的任用経験者特別選考の合格者は高校30人、特別支援学校17人、養護教諭2人です。「地学」「倫理」は合格者がありませんでした。試験がなかった「書道」「福祉」とあわせ来年度、全科目の採用を求めます。

校種・教科	志願者数	受験者数	1次合格者	採用候補者	倍率
高等学校教諭	458(-43)	433(-28)	122(-15)	55(±0)	7.9(-0.5)
特別支援学校教諭	118(-2)	114(-2)	68(+12)	39(+4)	2.9(-0.4)
養護教諭	102(-1)	96(+7)	48(±0)	35(+1)	2.7(+0.1)
栄養教諭	26(+3)	25(+4)	5(±0)	1(-1)	25.0(+14.5)

※（ ）内は前年度差異 養護教諭、栄養教諭は小中学校との一括募集

さようなら原発さようなら戦争全国集会

9月18日、東京・代々木公園で「ともに生きる未来を！さようなら原発さようなら戦争全国集会」が開かれ、9,500人（高教組8人）が参加しました。

福島原発刑事訴訟支援団団長の佐藤知良さんは「原発事故で責任を取った人はいない。事故の3年前に津波が予測され計画した防潮堤を東京電力の幹部が潰した。その罪を問うために1万4千人の告訴団は闘う」と決意を表明しました。

また、自主避難者として福島から大阪に避難している森松明希子さん（原発賠償関西訴訟原告団代表）は「2人の子どもを連れて避難している。憲法で保障された平和に生きる権利を奪われてきた。世界中の子どもたちの命を守ることが平和につながる道だ」と思いを述べました。

沖縄平和運動センターの山城博治議長は、沖縄の基地建設や原発政策の推進、戦争法や共謀罪の強行成立など、厳しく批判しました。

集会後、渋谷駅前を通るコースと、原宿駅などを通るコースに分かれてデモ行進を行い、原発推進反対や戦争反対をアピールしました。

